

拠出金名：インド洋まぐろ類委員会まぐろ類調査研究事業

国際機関等名	インド洋まぐろ類委員会 (略称) IOTC				
種 別	国連本体		国連専門機関		○その他
所轄官庁担当局課名	農林水産省水産庁国際課				
最近3年間の我が国支払額及び拠出率、ODA率					
	金 額				
単 位	邦 貨 (千 円)	外貨1 (千ドル)	外貨2	レート	拠出率(%) (注)
平成14年度	9,958	82		1\$ = 122円	(2002年) 15.1
平成13年度					(2001年) 100
平成12年度					(2000年) 100
拠出上位5ヶ国					
	国 名		率(%)		左の率及び順位は 2002年のもの
1位	欧州連合(EU)		46.8		
2位	国連		33.5		
3位	日本		15.1		
4位	中国		4.6		
5位					
当該機関に対する我が国としての評価(当該機関の政策に対する我が国の意見の反映度を含む)					
IOTCは、インド洋におけるマグロ類の保存管理及び最適利用を目的として設置された国際機関である。最近、当該水域においてはEU等によるマグロ類の漁獲が急増し、効果的な管理措置の導入が不可欠となっていることから、IOTCの果たすべき役割は極めて重要となりつつあると評価。					
合理化、機能強化のための改革が行われているか。 行われている場合はその現状と我が国としての評価					
IOTCは新しい機関であり、加盟国の大半が途上国であるため、機能的に強化が大きな課題である。このため、我が国及びEU等が拠出金を提供し、各種の科学調査を実施することにより機能強化が図られている。					
邦人職員数 うち幹部以上	0 人 うち 0 人		当該機関の職員数及び 邦人職員が職員全体にし める率	0 人 0 %	
邦人職員が占めている幹部ポスト					
ポストの名称(ランク)		職 員 氏 名		備 考	
当該機関重要ポストへの邦人職員送り込みについての具体的な計画					
特になし					

(注) 我が国と各国とは会計年度が異なるため、拠出率については暦年(2000年～2002年)。